

平成 28 年度主要な普及指導計画一覧

地域名	課 題 名	取組期間	内 容	評価 年度
東青	①東青地域の果樹の楽園づくりの推進	H28～29	果樹観光による継続的な観光客の呼び込みや広域観光の展開、「東青の果樹」の知名度向上や農家の所得向上を図るため、果樹観光の仕組みづくりと受入体制の充実に取り組む。	
	②「青天の霹靂」の生産拡大とブランド化の推進	H28～30	「青天の霹靂」の良食味・高品質米生産の維持に向け、栽培・出荷基準の周知徹底や、プロジェクトチームにおける役割分担の明確化と意識統一に取り組む。	H28
	③トマト指定産地の生産力向上	H28～30	トマトの単収向上や栽培作業の省力化等による産地の再編を図るため、新品種比較ほ場の設置や、Uターン誘導入事例の収集・紹介等を行う。	
	④地域経営を担う集落営農組織の法人化と経営改善支援	H26～28	北後潟営農組合、野内畑集落、野田営農組合の法人化に向けて合意形成、定款作成などを支援するとともに、これまでに設立された10法人について運営を支援する。	H27
中南	①栽培技術の確立と「青天の霹靂」での産米評価の向上	H26～28	「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」への出品を通じて、田舎館産米の評価向上を図るため、食味向上栽培技術を確立する。	
	②「青天の霹靂」の良食味・高品質生産の推進	H28～29	「青天の霹靂」生産指導プロジェクトチームの活動を強化するとともに、地域をリードする生産組織の活動を支援する。	H27
	③市場ニーズや地域特性に応じた高品質ものの生産推進	H28～29	高品質ものの生産拡大を図るとともに、新たな有望品種の作付推進、生産拡大に対応した集出荷体制の充実等を支援する。	H28
	④商品力向上によるぶどう産地の強化	H27～30	適正な栽培管理や長期貯蔵に向けたスチューベンの房づくりや病害防除を徹底するとともに、シャインマスカットの栽培方法の周知による導入を促進する。	
	⑤「つがるのミニトマト」生産拡大の推進	H27～28	ミニトマトの産地づくりやブランド化に向け、管内の関係者が一体となって生産拡大と販売を進め、現地巡回指導等により新規栽培者や新規就農者への支援を強化する。	H27

地域名	課題名	取組期間	内 容	評価年度
三八	①地域農業を担う法人の育成	H26～28	法人化後の経営体質強化を図るため、飼料用米の多収技術の導入や栽培品目の検討による経営内容の見直し、新規作物の導入について検討する。	H27
	②選果データを活用したのもも高品質安定生産の推進	H26～28	特秀率が低いため、優良園地の実態調査から栽培指標を作成し、下位等級生産園地の問題点の洗い出しと改善指導、選果データに基づく個別指導などにより、栽培農家の技術改善を進める。	H27
	③経営所得安定対策のフル活用を目指す水田農業の確立	H27～29	飼料用米の直播栽培技術の向上や、小麦・大豆・そばの病害虫防除や適期作業の徹底により収量、品質を高め、経営所得安定対策の助成金を確保する。	H28
	④ジュノハートを核としたおうとう産地の活性化	H28～29	ジュノハートの作付け拡大を図るため、新植・改植を推進するとともに、品種特性の周知と、接ぎ木技術や栽培技術の習得を支援する。	
	⑤アスパラガス立茎栽培の作付推進	H28～30	アスパラガスの産地化に向けた合意形成を進めるとともに、立茎栽培技術の確立や普及拡大に向けた体制づくりを支援する。	
西北	①極良食味品種「青天の霹靂」の高品質・良食味生産	H28～30	プロジェクトチーム活動による関係機関との連携と指導の強化を図るとともに、指導拠点ほを活用した生育状況と品種特性の把握、栽培基準遵守の徹底と生育に合った栽培管理を指導する。	
	②シャインマスカットの産地育成	H28～32	シャインマスカットの無核良品果栽培技術の早期普及を図るとともに、生産・販売体制の整備に向けて、戦略の検討や長期貯蔵技術の確立を行う。	H28
	③産直組織等を核とした西北産品の販売拡大	H26～28 (更新予定)	ネットワーク会員間の商談や出張販売など、産直組織の連携を強化し販路を拡大するとともに、女性起業家の新たな商品開発を支援し、若手女性起業家を育成する。	H28
	④西北の魅力を伝えるグリーン・ツーリズムの推進	H26～30	体験メニューや農家民宿許可取得者を増やして受入体制を整備するとともに、他団体等との連携により体験・宿泊の受入を拡大する。	

地域名	課題名	取組期間	内 容	評価年度
上北	①新規就農者の定着と経営基盤の強化	H28～30	新規就農者への研修会の開催や個別巡回、個人面談等により、栽培技術や経営管理能力の向上、販売力強化に向けて支援する。	
	②次世代を担う若手女性農業者の育成とネットワーク化の推進	H27～28	若手女性農業者が参加しやすい講座の開催や、「かみきた農業女子」サイトの運営、若手農業女子による首都圏での販売イベントへの参加などを行い、若手女性農業者のネットワーク化を進めることで次世代の農業女性リーダーを育成する。	H27
	③飼料用稲の省力栽培及び地域内流通の拡大	H28～29	地域に適した飼料用稲の省力栽培技術の確立と取組拡大を進めるとともに、稲SGS、稲WCSの加工技術の改善、飼料用稲の地域内流通の拡大を支援する。	H27
	④牛群検定成績を活用した飼養管理技術の向上	H26～28 (更新予定)	牛群検定結果を基にした飼養管理の改善に向けた現地指導を実施するとともに、関係機関が連携した総合的な酪農経営支援体制の構築を図る。	H28
	⑤上北トマトの生産拡大による産地力強化	H26～28	単収8トン/10aを確保するため、低単収農家の巡回指導により生産技術の底上げを図るほか、葉先枯れのでにくい施肥体系や循環扇による灰色カビ病抑制技術の試験、フェロモントラップによるオオタバコガの防除情報の発信などを行う。	H27
	⑥野辺地葉つきこかぶの産地力向上	H28～29	猛暑に適応したこかぶ品種の選定や病害虫防除対策、適期収穫等の生産技術確立による夏季の高品質安定生産を図るとともに、産地を維持・拡大するため「こかぶ塾（仮称）」設置による担い手の育成を支援する。	H28
	⑦県内一のながいも産地力の強化	H28～29	ながいも優良種苗の普及拡大を図るとともに、土づくりや土壌改良による品質・収量の向上、若手農業者の育成等を行う。	
	⑧高品質ながいもの安定生産と省力的栽培管理の普及	H28～29	ながいも栽培基本技術確認マニュアルの作成やカルテ活用による効果的指導方法を確立するとともに、無人ヘリコプターや粒剤処理による省力的防除技術の普及拡大、省力的施肥体系の技術確立を行う。	

地域名	課題名	取組期間	内 容	評価年度
下北	①担い手育成と野菜生産拡大を通じた直売所の活性化	H27～28 (更新予定)	直売所活性化戦略構想に基づき、直売所の新たな担い手確保や運営力強化、地域における連携づくりに向けた実効性ある各種活動を展開するとともに、直売所の連携力強化とPR活動を推進する。	H28
	②下北地域における「ほっかりん」産地化の推進	H26～28	「ほっかりん」のブランド化に向けて、生産技術の指導、販売ルートの検討、米袋・パンフレット等の作成、商工会等のPR活動への支援、フェイスブックなどを活用した広報活動などを行う。	H27
	③「しもきた☆はぴはぴアピオス」の産地づくり	H26～28	アピオスの日本一の産地を目指し、栽培技術の指導、販路拡大に向けた料理レシピ集やPRパンフレットの作成、首都圏での販売PR活動等の支援等を行う。	